

節電に向けた具体的な取組及び数値目標の達成の見込み

①施設等の名称	財団法人日本健康開発財団	②担当者所属・氏名	総務部 石坂 高
---------	--------------	-----------	----------

③区分	B	←区分にはA、B又はCのいずれかを記載。テナントの場合は、需要設備名及び契約官署名（又はビル管理者名）を下欄に記載。 区分A：大口需要設備（契約電力500kW以上）及び大口需要設備の一部としての需要設備 区分B：小口需要設備（契約電力50～500kW）及び小口需要設備（契約電力50～500kW）の一部としての需要設備 区分C：小口需要設備（契約電力50kW未満）又は小口需要設備（契約電力50kW未満）の一部としての需要設備並びに電灯契約の需要設備
テナントの場合	㈱アポー/石塚八重洲ビル	

④基準電力値	26,491 (kW)	←区分A又はBについてはH22最大使用電力を記載。区分Cについては記載不要。 「一部の需要設備」に該当する場合は、面積割等による按分値を記載。
--------	-------------	--

⑤数値目標	15 (%削減)	←原則「25」とする。それが困難な場合は「20」、なお困難な場合は「15」を記載し、⑥欄にその理由を記載。
-------	----------	---

⑥25%削減が困難な理由	医療機関のため
--------------	---------

⑦具体的取組

区分	対策項目	節電効果
システム	すべてのOA機器にスタンバイモードの設定を行い、その他機器は使用時のみ電源を入れる。	2%
空調	事務スペースは28℃設定を行う。お客様スペースは小まめに温度の確認を行い、28℃を目安に調整する。	5%
空調	7月～9月の間は、すべての窓をブラインドにて遮蔽する。	3%
照明	事務スペースは2/3程度に間引きを行い、お客様スペースは営業終了後、完全消灯する。	5%

※「区分」欄には、次の例を参考に、適宜分類を記載。（例：「業務見直し」「勤務形態の弾力化」「システム」「照明」「空調」「動力」等）

※「節電効果」欄には、その対策により削減される電力使用量の見込みを分かる範囲で記載（〇kW、〇%等）